



ふるさとウォッチング



4/23
5年に一度の伝統行事
花傘・船屋台神事奉納祭

応徳2年(1085年)にはじまったとされ、市の無形民俗文化財に指定されている伝統神事「花傘・船屋台神事奉納祭」が上久野の生山神社・鎌倉神社境内で行われました。神事は、地域の3自治会が、造花等を飾り付けた竹製の花笠と船屋台をそれぞれ準備し、生山神社から鎌倉神社までの参道を練り歩きながら奉納するもので、珍しい神事を一目見ようと、沿道は大勢の観客やカメラマンでぎわいました。

また境内に到着すると、氏子らが互いの傘や船をぶつけ合う「船屋台宮練り」や「花傘崩し」へと続き、盛大な餅まきにより華やかで歴史ある伝統行事を終えました。



花笠の直径は3m。護符として花傘の花は持ち帰ります。



健やかな成長を願い 子安観音祭り

5/3



稲わら工房前の特設会場では、吉田中学校吹奏楽部による演奏や特産品の販売などもありました。

吉田町の風物詩でもある「子安観音祭」。今年も子どもたちが、保護者に連れられ吉田のまちを歩きました。

晴天に恵まれた沿道には、かわいい稚児行列を撮影する写真愛好家や保護者など、大勢の人でにぎわいました。



4/24
恒例 春の光明寺遠足

加茂小学校の児童らが、小学校から光明寺まで、片道およそ5kmの行程を歩いて登る光明寺遠足に、今年で実に80回を数え、この時期恒例の遠足は、同町出身の教職員も「子ども頃に登った記憶がある。雨天のため、日程を変更したが、今日は晴れて本当に良かった」と話していました。

また、4年生以上の希望者は、光明寺裏の高瀬山への登山にも挑戦しました。



今年で実に80回を数え、この時期恒例の遠足は、同町出身の教職員も「子ども頃に登った記憶がある。雨天のため、日程を変更したが、今日は晴れて本当に良かった」と話していました。



シバザクラ 今年も満開でした

このシバザクラは、中谷上・下自治会の住民でつくる芝桜の会(為石紀会長)の会員らが、中山間地域等直接支払交付金制度を活用し、平成16年に植栽したものです。

白とピンク色のじゅうたつをしきつめたように咲く花は、地元の新しい名所となりまし

4月中旬から5月上旬にかけて、木次町中谷地区の水田畔に植えられた2,000本のシバザクラが通行する人の目を楽しませました。

掛合町の「ふるさと酒造る会」と「入間はやしこ振興会」では、ふるさとの農耕文化「花田植え」の保存・伝承活動に取り組んでいます。さわやかな五月晴れの下、酒蔵資料館前を



田植えが終わると、酒蔵資料館で上多根神楽の上演もありました。



5/14 花田植え

掛合町の「ふるさと酒造る会」と「入間はやしこ振興会」では、ふるさとの農耕文化「花田植え」の保存・伝承活動に取り組んでいます。さわやかな五月晴れの下、酒蔵資料館前を

途中「えがおの里」前で囃子を披露、水田に到着すると神事に続き、早乙女たちが田植え囃子に合わせて手際よく、手植えをしました。

あせ道や沿道には多くの写真愛好家が訪れ、さかんに撮影をしていました。

この花田植えによる酒米は、ふるさとの酒を造る会のメンバーによって、醸造される予定になっています。

三刀屋町の明石緑ヶ丘公園の隣接地にある奥出雲バラ園の花が5月中旬頃から咲きはじめています。

産業型観光薔薇園としてオープンしたバラ園は、(有)フレグランス・ロゼが管理しており、約1haの農園では、「さ姫」と呼ばれる薔薇酒やお菓子、化粧品などに使用されているバラが栽培されています。その濃厚な香りと色彩でさまざまな個性を持った商品の原料となっています。

バラ園に関しては、奥出雲バラ園(有)フレグランス・ロゼ(三刀屋町坂本・0854-455011)までお問い合わせください。なお、ホームページ(<http://fragrance-rose.com/>)にも掲載されています。



今年度の入園は無料ですが、予約が必要です。

まぎなく園内は「さ姫」の香りと白またま

三刀屋町の明石緑ヶ丘公園の隣接地にある奥出雲バラ園の花が5月中旬頃から咲きはじめています。

産業型観光薔薇園としてオープンしたバラ園は、(有)フレグランス・ロゼが管理しており、約1haの農園では、「さ姫」と呼ばれる薔薇酒やお菓子、化粧品などに使用されているバラが栽培されています。その濃厚な香りと色彩でさまざまな個性を持った商品の原料となっています。

バラ園に関しては、奥出雲バラ園(有)フレグランス・ロゼ(三刀屋町坂本・0854-455011)までお問い合わせください。なお、ホームページ(<http://fragrance-rose.com/>)にも掲載されています。